

「最大最悪の社会的健康阻害要因 戦争につながる」

日本社会医学会（山田裕一理事長）は26日に開かれた同学会総会で、「最大最悪の社会的健康阻害要因である戦争につながる戦争法案に反対する」との特別決議をあげました。

決議は、「法案は、自衛隊を海外の戦争に派兵するための戦争法案といふべきもの」と指摘。国会審議を通して、違憲立法であり、

日本社会医学会総会 「戦争法案に反対」決議

米国が始める戦争に自衛者、老人など常に一般動的に巻き込まれてしまふなどの危険性が明らかになったとのべています。

また、関連法案のなかには、軍事使用できる特定公共施設として病院（日赤、国立、その他の病院）が含まれており、医療分野に大きくかわる問題だとしています。

戦争の最大の被害者は女性、子ども、障害者など数百人。

市民である点で最大最悪の社会的健康阻害要因であるとし、「思想信条の違いを超えて一丸となって力を合わせよう」と呼びかけています。

同学会は、国民の健康や生活に生じる問題と社会との関わり、明、社会的な予防対策などに取り組み、会員は医療、福祉、教育関係者など数百人。